

第 4 8 期 決 算 公 告

2019年6月21日

大阪府大阪市此花区西九条1丁目28番13号
株式会社日立物流西日本
代表取締役社長 木村 善之

貸 借 対 照 表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流 動 資 産	15,505,379	流 動 負 債	8,252,443
現金及び預金	59,804	買掛金	2,890,150
受取手形	349,445	リース債務	661,191
電子記録債権	124,773	未払金	2,197,911
売掛金	7,564,347	未払費用	1,583,951
原材料及び貯蔵品	18,316	未払法人税等	297,829
前払費用	391,563	未払消費税等	404,092
未収入金	81,868	前受金	111,051
預け金	6,892,134	預り金	104,457
その他の他	23,124	その他の他	1,807
固 定 資 産	9,378,279	固 定 負 債	7,175,582
有形固定資産	7,556,901	リース債務	6,508,588
建物	602,413	退職給付引当金	610,209
構築物	10,945	役員退職慰労引当金	48,800
機械及び装置	18,185	長期預かり保証金	7,984
車両運搬具	8,176		
工具、器具及び備品	74,592	負 債 合 計	15,428,026
土地	1,276	【純資産の部】	
リース資産	6,841,310	株 主 資 本	9,455,632
無形固定資産	26,069	資 本 金	200,000
ソフトウェア	20,027	資 本 剰 余 金	60,000
その他の他	6,041	資 本 準 備 金	60,000
投資その他の資産	1,795,308	利 益 剰 余 金	9,195,632
投資有価証券	501	利 益 準 備 金	50,000
長期貸付金	337	その他利益剰余金	9,145,632
長期前払費用	816	固定資産圧縮積立金	60,534
繰延税金資産	573,443	別途積立金	6,632,400
差入保証金	1,212,784	繰越利益剰余金	2,452,697
その他の他	7,425	純 資 産 合 計	9,455,632
資 産 合 計	24,883,658	負 債 純 資 産 合 計	24,883,658

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 自 2018年4月1日
至 2019年3月31日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		56,435,909
売 上 原 価		49,572,209
売 上 総 利 益		6,863,699
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,760,839
営 業 利 益		4,102,860
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	81	
保 険 配 当 金	4,791	
補 助 金 ・ 助 成 金 等	591	
そ の 他	527	5,991
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	301,678	
そ の 他	1,396	303,075
経 常 利 益		3,805,776
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	260	
保 険 金 収 入	1,775	2,036
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	5,364	
リ ー ス 債 務 解 約 損	25,075	
災 害 損 失	44,906	75,347
税 引 前 当 期 純 利 益		3,732,466
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,277,466	
法 人 税 等 調 整 額	△ 101,900	1,175,566
当 期 純 利 益		2,556,899

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

計算書類は「会社計算規則」(平成18年2月7日 法務省令第13号)に基づいて作成しております。

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券	償却原価法
子会社株式及び関連会社株式	移動平均法に基づく原価法
その他有価証券(時価のあるもの)	期末決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
〃 (時価のないもの)	移動平均法に基づく原価法

(2) たな卸資産

移動平均法に基づく原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

(3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうちリース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

期末債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上することとしております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間による定額法により、翌事業年度から費用処理しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。